

今日、京響?

京都市交響楽団

第590回定期演奏会

The 590th Subscription Concert of
the Kyoto Symphony Orchestra

衝撃的な出会い! 下野竜也とコリリアーノ
～マイスキファミリーの三重協奏曲～



ベートーヴェン: ピアノ、ヴァイオリン、チェロのための
三重協奏曲ハ長調 op.56

コリリアーノ: 交響曲第1番

Beethoven: Concerto for piano, violin, violoncello and orchestra
in C major "Triple Concerto" op.56

Corigliano: Symphony No.1

指揮: 下野 竜也 (常任客演指揮者)

Conductor: Tatsuya SHIMONO (Guest Conductor)

©Naoya Yamaguchi

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券 & 後半券 S ¥2,000 A ¥1,500 B ¥1,000

※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了(後半開始)まで発売
(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。
(お子様お1人につき 1,000円 / 2015年5月1日までに京響 075-711-3110 へお申し込みください)
- ◆10枚以上でのチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。
京響(075-711-3110)までお問い合わせください。

プレイガイド
(電話予約)

- ・京都コンサートホール (075) 711-3231 (ホームページからオンラインチケット購入もできます)
- ・チケットぴあ (0570) 02-9999 Pコード 248-302
- ・ローソンチケット (0570) 000-407 Lコード 58609

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 711-3110
▶ <http://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075) 711-3231
▶ <http://www.kyoto-ongebun.jp/kyotoconcerthall/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市



協賛: ローム株式会社

協力: 株式会社ドルチェ楽器

後援: (株)エフエム京都

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

Kyoto Symphony Orchestra

2015

5/9^土

5/10^日

午後2時30分開演 (午後1時30分開場)

京都コンサートホール

Sat, May 9, 2015 / 2:30PM

Sun, May 10, 2015 / 2:30PM

Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

開演前(午後2時10分ごろから)は
指揮者による「ブレイク」、
終演後は「レセプション」でお楽しみください。
「ブレイク」はホール・ステージ上にて、
「レセプション」はホール・ロビーにて開催します。



チェロ: ミツシャ・マイスキー

Violoncello: Mischa MAISKY

ヴァイオリン: サシャ・マイスキー

Violin: Sascha MAISKY

ピアノ: リリー・マイスキー

Piano: Lily MAISKY

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

ROHM Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション

ROHM
SEMICONDUCTOR

京都市交響楽団 第590回定期演奏会

The 590th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

コリリアーノは現代アメリカをリードする作曲家。“この曲に出会った時の音響と強いメッセージ性は今でも衝撃的で、現代の最高傑作”と言う下野。前衛的な手法で描かれた怒りや悲しみに下野竜也が真摯に向き合います。チェロのミッシャ・マイスキーは京響初共演！しかも娘リリー、息子サーシャとの三重協奏曲です。ファミリーならではのアンサンブルに期待が膨らみます。

指揮 下野 竜也 (常任客演指揮者)

Conductor : Tatsuya SHIMONO (Guest Conductor)

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール＜指揮＞優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴び、以降、国際的な活動を展開。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、海外においても、ローマ・サンタ・チェチーリア管、ミラノ・ヴェルディ響、ストラスブルールフィル、ボルドー管、ロワール管、ウィーン室内管、カンヌPACA管、チェコフィルハーモニー管、シュトゥットガルト放送響、南西ドイツフィルコンスタンツ、シリコンバレー響など次々と客演を重ねている。2006年に読売日本交響楽団の初代正指揮者に迎えられ、ヒンデミットとドヴォルジャークを軸としつつ新作初演まで取り組む意欲的な姿勢とプログラム構成で高い評価を得る。2013年4月には同団首席客演指揮者に就任。2014年4月からは京都市交響楽団の常任客演指揮者に就任。2011年から音楽監督を務める広島ウインドオーケストラとは、吹奏楽の分野に新たな一石を投じる活動で注目を集めている。上野学園大学音楽学部教授として後進の指導にも情熱を注いでいる。これまでに、2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞などを受賞。



©Naoya Yamaguchi

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏などにも積極的に取り組み、2007年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」受賞。2008年4月、第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。録音では、広上淳一指揮「名曲ライブシリーズ」CD第1弾を2010年11月、第2弾を2012年2月、第3弾を2013年9月に発売。2016年の創立60周年という節目に向けて、「京響」は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。

チェロ ミッシャ・マイスキー

Violoncello : Mischa MAISKY

ラトヴィア共和国生まれ。ロストロポーヴィチとピアティゴルスキ両巨匠に師事した世界で唯一のチェリスト。ロンドン、パリ、ベルリンなど世界の主要ホールに出演、熱狂的な支持を受け続けている。ドイツ・グラモフォンの専属アーティストとして、25年間で30を超える録音をリリース。これまでにグラミー賞へのノミネートやエコー・ドイツ・シャルプラッテン、パリのディスク・グランプリなど受賞多数。その輝かしいキャリアのなかでも特にバッハの演奏では高い評価を得ており、2000年にはバッハ・プログラムで100以上の公演を行い、無伴奏チェロ組曲の3度目のレコーディングもリリースされた。これまでにバーンスタイン、メータ、ムーティ、レヴァイン、シノーポリ、パレンボイムら名指揮者たち、さらにアルゲリッチ、ルパー、キーシン、P.ゼルク、クレメル、バシュメット、ヴェンゲーロフほか世界のトップ・アーティストらと共演している。



ヴァイオリン サーシャ・マイスキー

Violin : Sascha MAISKY

1989年生まれ。3歳でヴァイオリンを始め、レオニード・カーベル、レオン・スルゾン、イーゴリ・オイストラフらに学ぶ。1997年熱帯森林保護団体のガラ・コンサートでカーネギーホールにデビュー、ヴェンゲーロフ、ムローヴァ、アルゲリッチらと共にサン・サーンスの「動物の謝肉祭」を演奏する。12歳でロンドンのパーセル音楽学校に入学、マチェイ・ラコフスキおよびエフゲニー・グラツァに師事する。これまでにクイーン・エリザベス・ホール、ウィグモア・ホール、バッキンガム宮殿、ブリュッセル音楽院、プラハ城そしてパリの英国大使館などでソロ及び室内楽を演奏。また、父のミッシャ、姉のリリーとはトリオを組んで既に何度も舞台に立っている。このメンバーでは、ペートル・ヴェーの「三重協奏曲」も演奏している。これまでにラクリン、ヴェンゲーロフ、F.アンドリエフスキ、I.ラシュコフスキー、V.グルツマン、E.グラツハ、N.Y.キム、シトコヴェツキーらの薫陶を受ける。パーセル音楽学校を優等で卒業後、現在はウィーンでボリス・クシュニールに師事。

ピアノ リリー・マイスキー

Piano : Lily MAISKY

1987年生まれ。パーセル音楽学校に学び、アルゲリッチ、バシキーロフ、カリクシュタインらの指導も受ける。カーネギーホールの熱帯森林保護団体チャリティ・ガラ・コンサートでデビュー。ドイツ・グラモフォンで父ミッシャの録音に参加、またEMIからは「マルタ・アルゲリッチ・プロジェクト」のライブ録音をリリース。ソロ・室内楽双方で活躍し、ヴェルビエ音楽祭、フィレンツェ五月祭、ジュネヴィエ・ホルシュタイン音楽祭等に参加。またロイヤル・フェスティヴァル・ホール、ウィーン・コンツェルトハウス、モスクワ音楽院等各国主要ホールに出演。室内楽では父ミッシャのほか、ラクリン、ヤンセン、カプソン、アンゲリッシュらと共演している。

2015 3/29日◎から発売!

❖ 次回予告 ❖

2015 4/17金◎から発売!

第591回定期演奏会

小泉和裕の“ロマンティック”
～鮮烈かつ情感的、シーララのシューマン～

日時: 2015年6月26日◎ 午後7時開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: 小泉和裕

独奏: アンティ・シーララ (ピアノ)

曲目: シューマン: ピアノ協奏曲イ短調op.54

ブルックナー: 交響曲第4番変ホ長調

「ロマンティック」(ノヴァーク版第2稿)



©Volker Beushausen

第592回定期演奏会

海、海、海…大海原へ
～アクセルロッドのシェエラザード～

日時: 2015年7月18日◎ 午後2時30分開演

2015年7月19日◎ 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: ジョン・アクセルロッド

曲目: プリテン: 歌劇「ピーター・グライムズ」から

「4つの海の間奏曲」op.33a

ドビュッシー: 交響詩「海」

リムスキー=コルサコフ: 交響組曲「シェエラザード」op.35



©Stefano Bottes

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)